

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	63	学校名	県立袋井高等学校	校長名	須藤 秀幸
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	【担当】成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	「志」を育てるキャリア教育、生徒の要望に応える補講、全校体制での進路指導を目指す。	【進路】「進路及び将来の職業選択に関するキャリア教育が推進されている」と答える教職員が80%以上。	教職員アンケートで82.2%	A	総合的な探究の時間を柱に時代に合わせたキャリア教育を進めている。今後も外部機関の協力を得て、全校体制で進めていきたい。
		【進路】「補講や集中学習期間は、進路目標達成のために役立っている」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで85.6%	A	各講座の出席率は、ほとんどが80%以上。
		【1年】「文理選択が主体的に行えた」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで95.8%	A	生徒が主体的により具体的な進路目標が設定できるよう、HR活動や面談を通じて丁寧な指導をする。
		【2年】「自分の進路希望に合ったコース・科目選択ができた」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで96.6%		次年度、受験科目ではない授業でも高い目標をもたせたい。
		【3年】「進路資料の検討や学部等の進路決定が自発的、主体的に行えた」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで95.9%		生徒と保護者の希望を尊重した出願に結び付ける指導を行うことができた。
イ	初期指導の充実、教科で一致した予習励行の工夫による家庭学習習慣の確立を目指す。	【各学年、進路】家庭学習時間の平均が 1年～3年6月 平日2時間以上 国30分以上 数45分以上 英30分以上 休日3時間以上 国30分以上 数60分以上 英60分以上 3年7月～ 平日4時間以上 休日6時間以上	1年 平日106.6分 休日177.6分 2年 平日87.6分 休日124.8分 3年 (6月以前) 平日109.7分 休日150.6分 (7月以降) 平日165.2分 休日270.2分	C	1年：学習時間を確保するための動機づけと時間の有効活用法を指導したい。 2年：学習時間確保の大切さを繰り返し語り掛けていく。 3年：主体的に取り組む仕掛けが必要である。 進路：調査方法の再検討を行う予定。

ウ	相互授業参観等を契機に、授業改善(主体的・対話的で深い学び、ICT活用)を図り、学力向上を目指す。	【進路】「外部模試の結果をその後の学習に生かすことができた」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで80.3%	A	各学年で模試の解き直しを指導している。
		【ICT研修】「授業で学力が向上した」と答える生徒が80%以上。 「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒が70%以上。 「授業に主体的に取り組めた」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで91.0% 授業評価アンケートで 第1回97.3% 第2回92.9% 授業評価アンケートで 第1回96.5% 第2回93.9%	A	引き続き生徒の興味・関心を引き出し、ICT機器の効果的な使用、アクティブラーニングの効果的な導入により、生徒の主体的な学びと学力の向上を目指し、教材研究・授業研究に取り組む。
		【ICT研修、各教科】「アクティブ・ラーニング(型)、ICT活用など教材・教え方に様々な工夫をしている先生が多い」と答える生徒が75%以上。 「積極的に発言できた」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで84.0% 授業評価アンケートで 第1回66.8% 第2回74.9%	A	生徒自身が考え、表現する場を積極的に設けていく必要がある。(国語) 発言しやすい発問をしていきたい。(数学、理科、保健体育、家庭) 英語で意見を述べるための更なる基礎力養成が必要であると考え。(英語) 多面的に物事をとらえることに加え、それらを言語化して他者に適切に伝えられるようにする必要がある。(地歴公民)
		【国語】「授業をとおして、文章を的確に読み取り、場面に応じて自分の考えを話したり、書いたりする力がついた」と答える生徒が70%以上になる。	生徒アンケートで89.7%	A	今後も資質能力の育成を念頭に授業を展開していきたい。
		【数学】「授業や課題、定期テスト等を通して、論理的に考える力が伸びた。」と答える生徒が70%以上	生徒アンケートで78.7%	A	論理的思考力を育てると同時に、自信が持てるよう育てていきたい。
		【英語】「授業を通して、主語と動詞の整った自分の考えを伝える英文を書く力をつけることができた。」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで87.5%	A	定期的な英作文指導を今後も継続する。

様式第3号

		【理科】「授業を通して科学的な探究力をつけることができた」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで81.2%	A	実験・観察の方法を考えさせることによって、科学的な探究力をつけさせることにつなげていきたい。
		【地歴公民】「授業、課題、定期テストなどを通して、現代の社会や歴史について考える力を身につけることができた」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで90.7%	A	引き続き授業を中心として知識技能に加え、思考力や判断力、表現力を養う。
		【保健体育】「体育の授業で知識と実践する態度を養うことができた」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで93.8%	A	次年度以降も生徒の主体的な活動の機会を増やせるようにしたい。
		【芸術】「授業を通して芸術のすばらしさを味わい、創造的な表現ができた。」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで92.9%	A	引き続き、芸術を愛する心情を育む。
		【家庭】授業を通して、「今の自分の実生活向上のためにつながる知識や技術が身に付いた」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで94.9%	A	単元ごとの復習などを積極的に取り入れて知識や技術の向上を目指す。
		【情報】「情報に関する知識や技術が向上した」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで92.1%	A	スマホの操作に比べて、生徒間のパソコンのキーボード操作のレベル差が大きいことが課題である。授業の進め方を考える必要あり。
エ	部活動、特別活動でのきめ細かな支援により、生徒の主体性、自立心の涵養を目指す。	【生徒】県大会出場部活10以上。 「2時間以上の家庭学習時間を確保して部活動との両立をしている」と答える生徒が70%以上。	県大会出場部活：14 生徒アンケートで69.9%	A	生徒にとって部活動の時間が大切で、活動できるようになり、結果が出ているが、学習に対する意識が低いと思う。両立を継続して呼びかけていきたい。
		【生徒】「学校行事や生徒会活動に主体的に参加している」と答える生徒が90%以上。 「学校行事や生徒会活動への取組を通して創造力・企画力・運営力、協働性等が向上した。」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで92.0% 生徒アンケートで88.3%	A	昨年、コロナの影響で学校行事が制限され、実施できない行事が多数あり、不満を持った生徒は多数いたと思う。今年度になり例年通り実施でき、満足した結果だと思う。生徒にとって高校生活の学校行事の大切さを理解した。これからも形を変えたとしても、実施する方向にもっていきたい。

様式第3号

オ	きれいな教室・廊下、美しい身なり、気持ちの良い挨拶・言葉遣い、大きな声での校歌斉唱を目指す。	【生徒】「頭髪・服装のルールを守っている」と答える生徒が95%以上。	生徒アンケートで98.9%	A	頭髪の基準を改定し、新たな基準を守っている。新たな基準を各学年、クラスで再認識し、統一した指導を徹底したい。
		【生徒】「明るい挨拶や場面に応じて言葉遣いができる」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで94.8%	A	生徒と教員の会話は節度のある、適切なコミュニケーションを心掛けていきたい。
		【生徒】「一旦停止や並進をしないなどのルールを守って登校している」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで97.9%	B	結果からみると生徒の交通ルールに対する規範意識は高いが、実際の違反は指導キップに表れている通り、かなりの件数が考えられる。常に声掛けをしていきたい。
		【保健】「校舎内外清掃が行き届いている」と答える生徒が70%以上。	生徒アンケートで75.4%	A	従来清掃分担を、現状に合うように見直していく必要がある。
		【保健】「校内外において、袋井高校生として自覚ある言動ができた」と答える生徒が90%以上。	生徒アンケートで94.7%	A	1年：本校生徒としての自覚と誇りとともに、学校生活への満足度も高めていきたい。 2年：男女とも服装を整えるよう、根気強く指導する。 3年：TEAM Fとして意識を高めてきた。
カ	時代の要請に応えるため、読書・小論文指導の充実、及び国際交流・ボランティア活動への参加者増を目指す。	【図書】図書館の本の貸出冊数が平均3.8冊以上。	1月5日現在の本の貸し出し冊数は2,523冊と昨年度末より1,000冊以上の減。平均は3.3冊。	C	朝読書や総合探究学習、小論文対策での本の貸し出しが増えるように対策を考え促していきたい。
		【図書】「学校図書館は学習活動の充実に役立つ」と答える教職員が90%以上。 「学習活動等の学校生活に役立っている」と答える生徒が80%以上。	教職員アンケートで88.9% 生徒アンケートで86.2%	B	学習活動にいつでも使用してもらえるように環境整備と広報、レファレンス能力の向上に努めたい。
		【生徒・保健】「福祉活動、ボランティア活動に将来参加したい」と答える生徒が50%以上。	生徒アンケートで64.0%	A	各イベントのボランティアが再開し始め、実際に参加した生徒数も多くなった。生徒会主導で、福祉委員会や他の委員会とも連携して行っていきたい。来年度は夏休みのボランティアを積極的に勧めたいと考える。

様式第3号

キ	施設・設備・物品の充実、防災・危機管理意識の高揚を目指す。	【総務】「大規模地震等に対する防災意識が高まり、自分でできることを実践している」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで88.8%	A	在校時に大規模地震が発生した際、全校生徒が冷静に適切な避難を行うためには、日頃から、避難経路について十分に理解しておく必要がある。職員が的確に指示し、生徒が安全に避難できるよう、防災意識を高めていきたい。
		【保健】「感染症対策、心身の健康維持、増進のために積極的に取り組んでいる」と答える生徒が80%以上。	生徒アンケートで97.8%	A	保健室利用や遅刻・早退・欠席がこれ以上増えないように生徒をサポートしていきたいと考える。
		【事務】「施設・設備・物品の整備・美化に努めている」と答える教職員、保護者が90%以上。	保護者アンケート75.8% 教職員アンケートで97.8%	B	施設・設備も年々老朽化してくるが、今まで以上にきめ細やかな対応をしていく。
		【事務】「学校の窓口として適正な対応をしている」と答える教職員、保護者、生徒が95%以上。	生徒アンケートで94.5% 保護者アンケートで91.6% 教職員アンケートで100.0%	A	引き続き丁寧で誠実な対応をしていく。
		【管理職】「危機対応時における対応の仕方を理解している」と答える教職員が90%以上。	教職員アンケートで88.9%	B	引き続き、防災計画等の内容の周知に努める。
ク	校務の効率化と適正化を図り、教職員の心身の健康を維持・増進する。	【管理職】「仕事の効率化と業務の見直しが図られ、心身の負担が軽減された」と答える教職員が60%以上。 「必要に応じた休暇が取れる職場環境である」と答える教職員が90%以上。	教職員アンケートで41.0% 教職員アンケートで77.8%	C	一部の業務の見直しは行ったが、教職員全体の業務の軽減には至っていない。 来年度は分掌の業務を中心に業務のスクラップを進める。
ケ	保護者の教育活動への参加促進と意欲的な広報活動の展開を目指す。	【総務】「PTA活動が充実している」と答える保護者が80%以上。	保護者アンケートで57.5%	C	コロナの影響により行事等に制限があったため、計画通りの活動ができなかった。今後は保護者の負担を減らしながら、新たなPTA活動のやり方を検討していきたい。

	<p>【総務】「教育方針や学校生活の様子及び諸情報がよく伝わっている」と回答する保護者が80%以上。</p> <p>「各種奨学金、授業料減免制度について知っている」と回答する保護者が80%以上。</p>	<p>保護者アンケートで69.8%</p> <p>保護者アンケートで78.6%</p>	C	<p>情報発信の方法（紙配布、HP、メール等）を工夫したい。</p>	
	<p>【総務】「ホームページや発刊物・行事などを利用し学校の広報活動に力を入れている」と回答する保護者が70%以上。</p>	<p>保護者アンケートで73.1%</p>	A	<p>HPでほぼ毎日学校生活の様子を発信し、部活動も大会実績や活動の様子をHPで伝えている。周知の方法を検討したい。</p>	
	<p>【総務】「一日体験入学に満足した」中学生が60%以上。</p> <p>中学生の一日体験入学参加が750人以上、公開授業が200人以上。</p>	<p>参加者アンケートで98.4%</p> <p>一日体験入学参加者 1143人 中学生749人 保護者394人 公開授業参加者 289人 中学生191人 保護者98人</p>	B	<p>中学校の指導により、多くの中学生が参加者しているが、これをいかに志願者につなげていくかが課題である。</p>	
コ	<p>新学習指導要領に基づいた Society5.0の時代に 応じた教育の在り方を伝えていく。</p>	<p>【管理職】「授業に主体的に取り組めた」と答える生徒が70%以上。</p>	<p>授業評価アンケートで 第1回96.5% 第2回93.9%</p>	A	<p>多くの生徒が主体的に取り組めたと答えているが、教員の感じているところとは隔たりがある。</p>
		<p>【管理職】「授業で扱う内容に興味・関心を深めた」と答える生徒が70%以上。</p>	<p>授業評価アンケートで 第1回97.3% 第2回92.9%</p>	A	<p>教科「情報」の授業と1人1台端末の導入により、生徒の情報活用能力は1年生を中心に順調に向上している。</p>
		<p>【管理職】「探究の時間は生徒の意識の啓発につながっている」と答える教職員が80%以上。</p>	<p>教職員アンケートで88.9%</p>	A	<p>1年生を中心に16名の生徒がリーダー研修会に参加した。のべ55名の1,2年生が理工科大の研究室訪問に参加した。1,2年生の探究の時間に袋井市の職員の方をはじめ多くの外部機関の方にご参加いただき、指導・助言をいただいた。校外の多くの方に関わっていただき、本校の探究活動が充実したものになっている。今後も御協力いただき、さらなる充実を図る。</p>

様式第3号